

転勤族OBを使って

「かつて旭川で勤務していた転勤族をネットワーク化して、旭川の応援団にはできないでしょうか。そんな仕組みがあれば、旭川の



活性化に役立つのではないのでしょうか。と前向きな

提言を行うのは、日本銀行旭川事務所長の尾家啓之さん(50)。

同氏は金融、経済の分析のスペシャリストだが、一

談話室

方でまちづくりに対する意欲も並々ならぬものがある。

旭川の街について、同氏は、「人口36万人規模で、大きすぎず、小さすぎず。街並みも昭和の情緒に溢れる建物が残っていて、小路がこれまた情緒溢れる」と評価。「過去、転勤して旭川で暮らしたビジネスマンのなかには、旭川への愛着を持つ人が大勢います。実際、旭川に勤務していた支店長や所長経験者らが、転勤後も旭川でゴルフをしたり、さんろくに来て飲んでいったという話は結構聞きます」とも。

「東京や大阪に散らばった旭川勤務経験のサラリーマンの方が相当の数に上るわけですから、見逃す手はありません。この方々には、まず映画『旭山動物園物語』を観ていただいて、旭川を懐かしんでもらう。ぜひ何か、ネットワーク化できる仕組みを作ってはいかがでしょうか。及ばずながら、私も応援団に加わります」ときっぱり。